

(案)

平成 31 年 3 月 27 日

宮古圏域の地域医療構想に関する合意書

沖縄県宮古地区地域医療対策会議（以下「本会議」という。）は、平成 30 年 11 月 21 日から平成 31 年 3 月 27 日までの間、宮古圏域における今後の医療提供体制について協議した結果、平成 31 年 3 月 27 日の同会議において次の事項について合意した。

- 1 宮古圏域に所在する医療機関が担うべき役割及び医療機能ごとの病床数は、別紙「宮古圏域の将来における具体的対応方針」のとおりとする。
- 2 沖縄県立宮古病院の 2025 年における担うべき役割及び医療機能ごとの病床数は、平成 30 年 11 月 21 日の会議で提示した公的医療機関等 2025 プランのとおりとする。
- 3 宮古圏域に所在する医療機関は、宮古圏域における病床の医療機能ごとの需給動向等を踏まえ、不足する機能への転換を検討する。
- 4 病床の機能転換に当たっては、医療従事者の需給状況への影響を十分考慮する。
- 5 次の事項については、今後、本会議において協議を継続する。
 - (1) 病棟単位で非稼働である病床の今後の稼働見通しの確認
- 6 上記事項を修正する必要がある場合は、改めて本会議において協議する。

宮古圏域の将来における具体的対応方針

No.	区分	医療機関名	プラン	役割											現状							具体的対応方針(医療機関計画)							備考						
				がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	病床数(平成31年1月31日現在)					(非稼働病床)	病床数(6年後又は2025年の予定)					介護保険施設へ移行									
															合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期		休棟(病床単位で非稼働)	合計(介護保険施設移行除く)	高度急性期	急性期	回復期		慢性期	休棟(病床単位で非稼働)							
1	病院	沖縄県立宮古病院	2025プラン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	250	17	233							(34)	250	26	198	26				急性期9床を高度急性期(ICU:2, HCU:4, NICU:3)に転換予定 急性期26床を回復期(地域包括ケア病棟)へ転換予定
2	病院	宮古島徳洲会病院	将来プラン	○	○		○	○									99		53	10	36						99		53	10	36				現状維持
3	病院	宮古島リハビリ温泉病院	将来プラン		○		○										216				216									216				現状維持(介護療養病床48床の今後の在り方は検討中)	
4	病院	国立療養所 宮古南静園	将来プラン														4				4									4				現状維持	
5	有床診療所	真喜屋精神神経科医院	病床機能報告														19													19				H30年10月から休業(回復期)	
6	有床診療所	いけむら外科・胃腸科・肛門科	病床機能報告													○	19			19									19				現状維持		
7	有床診療所	池村内科医院	病床機能報告		○	○	○										8										8				8				入院患者がいなかったため休棟。患者がいれば再開する。
8	有床診療所	城辺中央クリニック	病床機能報告													○	19				19								19				現状維持		
9	有床診療所	真壁眼科	病床機能報告				○										8		8								8		8					現状維持	

No.	区分	医療機関名	プラン	役割										現状							具体的対応方針(医療機関計画)							備考				
				がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	病床数(平成31年1月31日現在)					(非稼働病床)	病床数(6年後又は2025年の予定)					介護保険施設へ移行						
															合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期		休棟(病棟単位で非稼働)	合計(介護保険施設移行除く)	高度急性期	急性期	回復期		慢性期		休棟(病棟単位で非稼働)			
10	有床診療所	奥平産婦人科医院	病床機能報告															13		13												現状維持
11	有床診療所	羽地歯科口腔外科医院	病床機能報告															3		3											現状維持	
宮古圏域 合計 ①												658	17	310	29	275	27	(34)	658	26	275	55	283	19	0							
2025年病床数の必要量 ②												415	39	150	118	107	-	-	415	39	150	118	107	-	-							
単純比較 ②-①=③												△ 243	22	△ 160	89	△ 168	-	-	△ 243	13	△ 125	63	△ 176	-	-							

※地域包括ケア病床を有する医療機関については、当該病床を回復期機能として計上している。そのため、病床機能報告の機能別病床数と一部異なる。

※「役割」欄は、医療施設一覧(沖縄県作成、平成30年9月公表)から該当する医療機関に○を記載している。

【今後の機能転換の見込み】

- 現状から、将来(6年後又は2025年)に向けた機能転換の見込みは以下のとおり。
 - 高度急性期は、9床増加する見込み〔県立宮古病院+9床〕
 - 急性期は、35床減少する見込み〔県立宮古病院△35床〕
 - 回復期は、26床増加する見込み〔県立宮古病院+26床〕
 - 慢性期は、8床増加する見込み〔池村内科医院+8床〕。病床過剰の機能であるため、再開には会議の場で説明が必要。
 - 高度急性期、急性期及び回復期機能は、沖縄県地域医療構想(以下「構想」という。)の2025年の必要病床数の確保に向けた方向で機能転換が予定されている。
- 構想で最も不足する見通しである回復期機能については、構想策定時(2015年)の19床から55床へ36床増加する見込みとなっており、4機能で最も多い増加数となっている。ただし、2025年の回復期の必要病床数118床と比較すると、依然として不足する見通しであるため、引き続き回復期機能の確保に取り組んでいく必要がある。
- 宮古圏域の基準病床数は429床となっており、現在、同圏域は病床過剰地域となっているため、新たな病床整備ができないことから、回復期機能の確保に向けて、既存病床の機能転換を進める必要がある。

